

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	救急医療対策事業			事業番号	011-173
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療政策 課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実
		有	取組の方向性	①地域医療体制の充実			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		有	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度		昭和 47 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市救急医療対策事業運営費補助金交付要綱				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、市外郭団体				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		医療機能が低下する休日・夜間に初期急病（歯科）診療を運営する公益財団法人堺市救急医療事業団、一般社団法人歯科医師会及び入院治療等が必要な重症緊急患者等の受け入れを行う救急告示病院（精神科のみの診療を行う病院を除く22病院）			対象数	単位
						24	団体
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		休日・夜間等の救急医療体制の確保等により地域の救急医療体制を確立し、地域住民の生命の安全の確保及び健康保持増進に寄与すること。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		・公益財団法人堺市救急医療事業団（以下「事業団」という。）に対し、こども急病診療センター（小児科）及び泉北急病診療センター（内科）の運営に係る補助金を交付。事業団は、両センターに出務する医師及び薬剤師を医師会等外部団体の協力を得て確保するとともに、重症者等を後送する病院の確保を行うなど休日・夜間の適正な医療提供を行っている。 ◆診療受付時間 こども急病診療センター 平日 20:30～翌朝4:30 土曜日 17:30～翌朝4:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～翌朝4:30 泉北急病診療センター 土曜日 17:30～20:30 日・祝 9:30～11:30 12:45～16:30 17:30～20:30 ・救急搬送等を受け入れる二次救急医療機関及び歯科急病診療を行う一般社団法人堺市歯科医師会に対する補助金の交付により地域救急医療体制を確立。 ・大阪府、大阪市の共同事業による周産期医療体制の確保 ・二次救急医療機関との情報共有、意見交換による連携強化 ・市民の適正受診に向けた啓発活動				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		公益財団法人堺市救急医療事業団ほか				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検年度
	救急受診者数（初期・二次・三次救急）	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
			目標値	—	—	—
			実績値	76,300	84,467	—
	達成率	—	—	—	—	
当該指標を選定した理由	救急医療提供の成果物として、主要かつ客観的な指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	急病患者への医療提供にかかる指標であることから、目標値を設定し達成率を測ることに適さない。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	救急告示病院連絡会開催回数	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	2	2	2
			実績値	2	2	—
	達成率	100%	100%	—	—	
当該指標を選定した理由	本市主催で定期的に連絡会を開催し、初期、二次、三次救急医療に関する情報を、二次救急医療機関と共有し、市内の円滑な救急医療提供体制の構築を図っているため					
目標値の設定根拠・算出方法	救急告示病院連絡会開催予定回数（年2回）					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	救急医療対策事業	事業番号	011-173
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	246,948	503,614	256,342	405,983	381,913
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金	16,949	16,798	16,800	16,798
	市債				0
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	36,903	36,302	36,702	36,692
一般財源	193,096	450,514	202,840	352,491	328,429
14 人件費 (b)	6,480	6,560	6,560	9,840	9,840
15 年間経費(c)=(a)+(b)	253,428	510,174	262,902	415,823	391,753

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
冊子「かかりつけ医をもちましよう」印刷費	R4 予算	214	214	R4 予算	14	14	
土地借上料	R3 決算	5,956	5,956	消耗品費	R3 決算	26	26
	R4 予算	5,956	5,956		R4 予算	19	19
周産期緊急医療体制整備事業負担金	R3 決算	4,789	4,789	役務費 通信運搬費	R3 決算	103	103
	R4 予算	4,789	4,789		R4 予算	83	83
性暴力被害者ネットワーク協力医療機関支援負担金	R3 決算	300	300	研修会参加負担金	R3 決算	0	0
	R4 予算	300	300		R4 予算	1	1
堺市救急医療事業運営補助金	R3 決算	394,562	341,070		R3 決算		
	R4 予算	370,537	317,053		R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		17 ① 救急受診者数 (初期・二次・三次救急)	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	467,471	374,371
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,127	4,432

備考 (算出についての説明等) 年間経費については、堺市救急医療事業運営補助金 (歯科急病診療事業を除く) に補助金事務にかかる人件費を加えたもの

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度においても、救急医療は新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた。新型コロナウイルス感染症の市中感染の増加と比例し、搬送困難事例も増加するなど救急医療の現場でも厳しい場面が続いた。救急患者数は令和2年度比約10%増となり、単価当たりの経費も減額となった。新型コロナウイルス感染症への対応を含め、各機関の努力、役割分担や連携により安定的な救急医療体制を維持したことは大変評価できる。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 本事業においては、救急医療提供機能を持つ初期、二次、三次医療機関のうち、初期救急医療機関の運営及び二次、三次救急医療機関の補助を実施し、市内における救急医療体制の確保を達成した。休日・夜間等の救急医療体制の確保は地域医療体制の充実に必要不可欠であり、堺市基本計画2025における「①地域医療体制の充実」に寄与したと評価する。